事例No.	2602
公表年度	R5
団体の属性	その他
団体名	本田　節

事例区分	地域活性化

タグ	・観光 ・関係人口 ・地域運営組織

事例種類	地域活性化

事例内容・タイトル

本田　節

出典

平成27年度ふるさとづくり大賞事例集

宮本　照代　　和歌山県那智勝浦町

概　　要

平成11年開催の「南紀熊野体験博」に際し、平安衣装をまとって熊野詣でを体験する場として、生家を貸し出して以来、大門坂茶屋の名物女将として、前職（小学校教員）の経験を活かした穏和な語り口と、自家栽培による茶のおもてなしで観光客をもてなしている。リピーター客も増え、大門坂茶屋人前結婚式の立会人として、今までに23組の結婚式を見届けてきた。マスコミにも度々取り上げられるなど、熊野地域のイメージアップと観光振興に多大な貢献がある。





評価された点

・長年に渡る活動によって、新たな観光ルートが開発され、大門坂から歩く観光客が増加して地域活性化に成果を上げている。
・地域の観光資源を活かし、地元にある歴史的な熊野詣を彷彿とさせるアイデアの取り組みはユニークであり創意工夫が感じられる。
・長年、地域に貢献されてきた。

本田　　節　　熊本県人吉市

概　　要

30代の頃のガン闘病をきっかけに食・農・命について深く考えるようになり、女性、高齢者、地域全体が元気になることを目指し、農村レストラン「ひまわり亭」をオープン。また、「ひまわり亭」を起点として「もったいない」「おかげさまで」をキーワードに、農村で生きること・働くことの意味を、地元の食材や食文化を通じて人々に発信している。地域のみならず、熊本県内の地域振興に大きく寄与している。



評価された点

・ひまわり亭が地域に与えた農村で生きること働くことの意味は大きい。経営も安定しており補助金に頼らずに努力しているところもすばらしいと思う。
・被推薦者は食・農・命について深く思考するとともに、女性、高齢者、地域全体を巻き込んで、郷土料理のツーリズムを通した地域づくりを展開しており、評価は高い。また、このような地域活動を広域に普及展開している活動も注目される。
・農村レストランの「ひまわり亭」の経営に私財を投じながら、６次産業化の出口を作ってきた先駆者である。
・食を見直すと全てが変わると思う。これからの日本が一番貢献できることであろう。その好事例。
・農村レストラン「ひまわり亭」は農村に生きる女性たちに自信と誇りをもたらし、地域全体の活力アップにつながっている。

